

令和8年6月24日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

広報広聴委員会委員長 酒井 はやみ

議員派遣結果報告書

令和8年3月25日に決定された議員派遣について、次のとおり報告する。

記

- 1 派遣名 幕別町議会報告会
- 2 目的 議会活動の状況及び町政の状況を町民に報告及び説明するとともに、町民の意見等を聴取し、議会の運営改善と政策提言の充実を図るため。
- 3 派遣場所 幕別町役場3階委員会室（幕別町本町130番地1）
- 4 派遣期間 令和8年5月24日（1日間）
- 5 派遣議員 委員長 酒井はやみ
委員 塚本逸彦、山端隆治、内山美穂子、
長谷陽子、藤谷謹至
議員 小田新紀、荒貴賀、岡本眞利子、
議長 寺林俊幸 副議長 中橋友子
(以上11人)
(谷口和弥副委員長欠席)

- 6 内容等 別添「令和8年度議会報告会報告書」のとおり



令和 8 年度 議会報告会 報告書

令和 8 年 5 月 24 日 (日) 開催



令和 8 年 5 月
幕別町議会

－ 目 次 －

1	開催状況	1
2	会議録（概要）	1～5
3	参加者アンケート集計結果	6～9

1 開催状況

開催日時	会 場	参加人数（人）
5月24日（日） 午前10時00分～11時28分	幕別町役場 3階会議室	19

2 会議録(概要)

【事前受付した質問事項への回答】(6件)

No. 1	
質 問	幕別駅前通りについて 駅前通り南側花もなく雑草が茂っていて見にくい。
回 答	「町の顔」である駅前通りの維持管理は、町の印象に関わる重要な課題と認識している。 当委員会では、道路などの公共資産の効率的な維持・管理について継続的な調査を行っている。今回いただいた「雑草が茂り、花がない」という現場の状況は、町の管理体制や作業計画を検証する際の重要な視点として活用させていただき、手入れが行き届いていない現状を改善できるよう、議会の立場から町へ必要な提言を行っていく。（内山産建委員長）

No. 2	
質 問	「子どもの権利条例」を生かした取組について 十勝でも数少ない子どもの権利条例をもっている町として、今後条例を生かしてどのような取組を広げていきたいか。この条例は「子どもの権利」ってなんだろう、ということを町民のなかで意識、確認されるような継続的な取組が常に行われてこそ定着していくように思う。
回 答	子どもの権利を守るという観点から制定されたものであり、住民全体で意識を高めることが必要で、権利を持つ主体としての責任を果たすことが重要と考える。今後さらに地域全体で子どもの健やかな成長を支えるための仕組みづくりに必要な提言を町に行っていく。（岡本民生委員長）

No. 3	
質 問	令和8年秋オープン予定のアイヌ文化拠点空間（チロット）について オープンを控えるチロットについて、ウポポイに見られる様に目標を大幅に下回った場合の軌道修整の考えはあるか、あればどういったものかお聞かせいただきたい。
回 答	令和8年秋にオープンを控えるアイヌ文化拠点施設について、総事業費18億円という巨額の投資に対し、町民の皆様が「目標を下回った場合はどうするのか」と関心や懸念を持たれることは、白老町「ウポ

	ポイ」の現状なども踏まえれば当然のことと受け止めている。 実際の事業計画の策定や運営を行うのは行政（町長・役場）の役割であり、役場側も目標達成に向けてすでに多くの事業を展開していると認識しており、私たち議会としても、本事業が適切に進むよう厳しくチェック（監視）していく。 万が一、目標値に届かない場合の対応については、幕別町が提出している「アイヌ政策推進交付金事業計画」において、外部有識者等による客観的な検証を行うこととされており、そこで得られた改善点を踏まえ、計画期間内の事業実施へ迅速に反映・軌道修正を図る仕組みとなっている。 アイヌ文化の歴史的背景や故吉田菊太郎氏の功績を鑑み、現在は幕別アイヌ協会やマクンベツアイヌ文化伝承保存会などの関係団体と連携を図りながら、歴史的資源の適切な保存・活用と、多様な人々との日常的な文化活動・教育連携を一体的に推進していく方針であると伺っている。 民族独自の歴史や文化、すなわち「多様性」が生かされる社会こそが、豊かな社会であると考えており、当施設が単なる展示にとどまらず、「地域住民や町外からの来訪者がアイヌ文化に触れ、学び、交流を深める拠点」として機能し、来場者・利用者が目標を上回るよう、議会としても今後の運営や取組についてしっかりと調査・注視していく。（荒総文委員長）
--	---

No. 4	
質 問	①議員定数・報酬について 先日の団体との意見交換会で、私は浦幌町の例を挙げて、若い方（特に女性）が立候補しやすい環境を作ってほしいと述べ、無競争投票を理由に定員を削減するのは拙速ではないかと述べさせていただいた。北海道新聞ではこの20年で道内の町村議員が4割減少していることが報道されており、また、栗山町が報酬を5万3千円上げたとの報道もあった。意見交換会の中では「議員報酬は給与と違う」と説明があったが、やはりアップしていただきたいと思う。 ②議会改革について 最近の国政選挙では投票率が下降傾向にあり、対策を考えていただければと思う。また、道新栗山支局長が「栗山町議会、議会改革の試み全国の手本に」のタイトルで記事を書かれていた。この中で「議員の学校」のことが書かれていたが、幕別町も同様の試みを始められるようで議員諸氏の本気度を感じ取ることができた。私自身国政に対する関心に比べて町政に対してはほぼ無関心であったことを恥じており、今後も町政に関心を持てるような試みを考えていただければと思う。
回 答	①諸団体から貴重なご意見をたくさん頂き、意見交換の機会を作れたことについても評価を頂いた。それを踏まえて現在「議員の定数及び議員報酬のあり方特別委員会」で議論を行っている。議員報酬はもちろん給与とは違うが、これまで27年間改定が無かったこと、活動費が増加していること、若い人が議員になりやすくなることなどから、町の財政状況を踏まえた上、一定の引き上げを行うべきとの意見が多く

	出されている。現状維持の意見もあり、最終的な取りまとめに向け議論をしているところである。(中橋定数・報酬委員長) ②議会改革や投票率の低下、さらには「議員の学校」のような取組にも関心を寄せていただき、大変ありがたく受け止めている。 このたび、議員定数や議員報酬のあり方、そして議員のなり手不足について議論を重ね、町民の皆様との意見交換も行っている。その中で、私たち議会としてあらためて強く感じたことは、議会が日頃どのような活動をしているのか、議員が議会以外の場面でどのように町民の声を聴き、調査し、町政に反映しようとしているのかが、まだ十分に伝わっていないということである。 議会や議員の活動が見えにくいことは、町政への関心の低下にもつながりますし、結果として「議員になってみよう」「地域のために関わってみよう」と思う方が増えにくい要因にもなっているのではないかと考えている。今回のなり手不足の議論は、単に定数や報酬の問題だけではなく、議会そのものをもっと身近に感じていただくための改革が必要である、という議論にもつながっている。 そのため、これまでの議会広報紙や議会報告会に加え、今後は、議会や議員の役割ならびに責務をより分かりやすく伝える取組、町民の皆様と日常的に意見交換できる場づくり、若い世代や子育て世代、働く世代にも参加しやすい広聴活動などを検討していく。 もちろん、取組を始めるだけで終わらせるのではなく、実施後には参加者の声や効果を検証し、改善を重ねていくことが大切であり、まずは行動を起こし、町民の皆様にとって、議会がより身近で、開かれた存在となるよう努めていく。(小田議運委員長)
--	---

No. 5	
質 問	札内南コミュニティセンターの卓球台について 札内南コミュニティセンターの卓球台について台数は12台あるが、1台は壊れて使えない状態。残りの11台はあまりにもよくない。一度見に来ていただき、見ただけでは分からないので使ってみてほしい。この会場は一般中学生など多くの人が利用している。古くなった卓球台は南コミセンに持ってこないでほしい。どうか使える台を何台か入れてほしい。
回 答	札内南コミュニティセンターの卓球台について、多くの住民の皆様が快適に利用できる環境づくりに引き続き努めていく。(岡本民生委員長)

No. 6	
質 問	①議員定数及び議員報酬の見直しは、どのような方向になったのか ②町民との対話を重視して取り組んでいるが、参加者が少ないのはどうしてか
回 答	①4月に6団体との意見交換会を行い、定数は現状維持と削減がほぼ拮抗し、報酬では引き上げの意見を多くいただいた。現在その内容を踏まえて特別委員会で最終的なまとめに向け、議論を行っているところ

	ろである。(中橋定数・報酬委員長) ②議会としても参加者が少ないという認識は同じであり、課題だと受け止めている。仕事や家庭の事情で参加が難しい方も多く、議会が身近に感じられていない部分もあると考えている。 開催方法や、SNSを活用するなどお知らせの仕方、テーマ設定などを工夫しながら、もっと参加しやすく、意見を出しやすい形を工夫していきたいと考えている。 また、日頃から議会を身近に感じていただけるよう、広報紙のリニューアルや議会モニター制度、議員学校などにも取組ながら、町民のみなさんとの対話や交流をさらに広げていきたいと考えている。(酒井広報委員長)
--	---

【活動報告、事前質問への回答を受けての質問・意見等】(7件)

No. 1	
質 問 ・意 見	「子どもの権利条例」を生かした取組について ・ 制定から16年が経ち子育て支援は進んでいるが、大人の「子どもの権利」に関する意識向上が重要である。子ども自身が権利を意識できる取組(出前講座など)をさらに進めてほしい。 ・ 札内白人小学校や札内北小学校、清陵高等学校だけでなく、まくべつ学園でも出前講座などの取組を行ってほしい。教育現場で条例について話し合う機会があるとより良くなるのではないかな。
回 答	制定当時は啓発リーフレットなどを作成していたが、時間が経過して浸透していない部分もある。今後は教育委員会とも連携し、しっかりと提言していく。(寺林議長、岡本民生委員長)

No. 2	
質 問	幕別南コミュニティセンターの避難経路看板について 避難経路の看板の表記が「幕別中学校」のままとなっているが、「まくべつ学園」に変更する予定はあるか。
回 答	令和8年4月にまくべつ学園が開校し、8月には全ての生徒が1つの校舎に移行するため、早急に改善するよう行政へ伝える。(寺林議長)

No. 3	
質 問	令和8年秋オープン予定のアイヌ文化拠点空間(チロット)について 予算規模が大きい案件。いわゆるハコモノ行政にありがちな、赤字を垂れ流す事態とならぬよう、議員各位には厳正に見極めていただきたい。
回 答	これまでも総務文教常任委員会が中心となり、どのような取組を進めるのかを町に問いかけてきた。今後は入場者数や利用者数の推移を注視しつつ、地域にとって大切な拠点であることについて住民の理解を得られるよう、取り組んでいく。(荒総文委員長)

No. 4	
質 問	YouTube 配信と資料の連携について 議会の YouTube 配信を見ている際、手元に資料がないと内容が分かりづらい。概要欄に資料を掲載するなどの対応はできないか。

回 答	YouTube の概要欄に一般質問通告書や議案へのリンクを掲載するなどの対応が可能であるか、検討していきたい。(酒井広報委員長)
------------	--

No. 5	
意 見	現代の子どもの教育・環境について 物質的に豊かになった反面、子どもが我慢を知らない状況を危惧している。親が真剣に教育に向き合うべきであり、過去の生活の知恵や自分の生き方を子どもたちに伝え、コミュニケーションがとれたらと考える。
回 答	貴重な参考意見として受け止める。(広報広聴委員会)

No. 6	
質 問	他自治体の視察事例（廃校利用・地域通貨）について 視察で訪問した深川市での廃校利用や、他町の地域通貨の取組について、幕別町にどのように活かしていく考えか。
回 答	深川市の廃校利用（太陽光を活用した水耕栽培や循環型農業）は参考になるが、財源の課題もあるため、今後どのように活用していくか考えていきたい。また、幕別町の地域通貨についても、名寄市の事例（大型店での利用や公共施設でのチャージ等）を参考に、利便性向上につなげていきたいと考えている。(内山産建委員長)

No. 7	
意 見	議員定数について 高齢化が進み、自力で移動できないお年寄りが増えている。声を上げられない弱者の声を拾うのも議員の大事な仕事であるため、議員定数を減らさないでほしい。
回 答	いただいた意見を十分に受け止め、今後の特別委員会での議論にしっかりと活かしていく。(中橋定数・報酬委員長)

3 参加者アンケート 集計結果

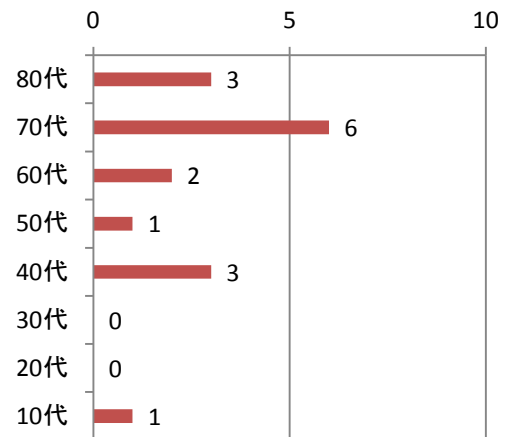
参加者数	19
------	----

アンケート回答数	16	(回答率 84.2 %)
----------	----	--------------

問1 あなたの年齢は？

(人、%)

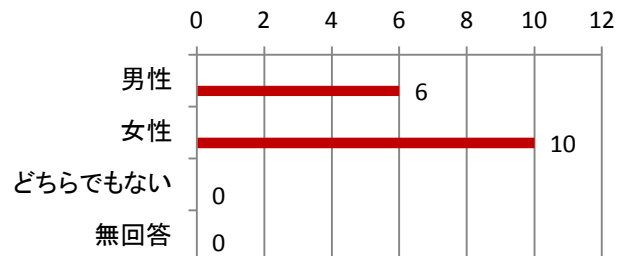
年齢	計	割合
80代	3	18.7
70代	6	37.5
60代	2	12.5
50代	1	6.3
40代	3	18.7
30代	0	0.0
20代	0	0.0
10代	1	6.3
計	16	100.0



問2 あなたの性別は？

(件)

項目	回答数	割合
男性	6	37.5
女性	10	62.5
どちらでもない	0	0.0
無回答	0	0.0
計	16	100.0

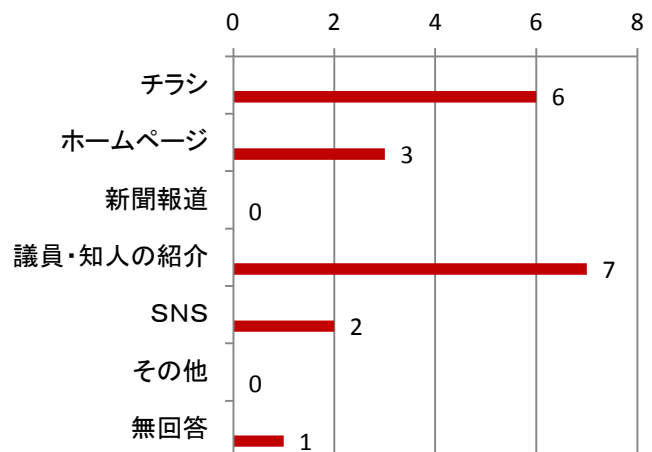


問3 議会報告会の開催は何で知りましたか？

※ 複数回答あり

(件、%)

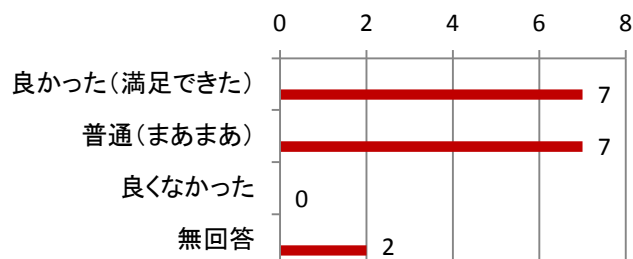
項目	回答数	割合
チラシ	6	31.6
ホームページ	3	15.8
新聞報道	0	0.0
議員・知人の紹介	7	36.8
SNS	2	10.5
その他	0	0.0
無回答	1	5.3
計	19	100.0



問4 議会報告会の感想をお聞かせください

(件)

項目	回答数	割合
良かった（満足できた）	7	43.8
普通（まあまあ）	7	43.8
良くなかった	0	0.0
無回答	2	12.4
計	16	100.0



○良かった（満足できた）

※ 記載していただいた文面のとおり記載しています。

みんなの顔が見えて、ざっくばらんに意見交流もできてよかったです。

初めて参加させていただきました。

オープンに情報を得たことは結構。

参加させていただき、ありがとうございました。緊張したけど、初めて参加して、中学校の生徒会の大人バージョンだなと思いました。

議員の方々が、どんな活動をされていたのかを大まかではありますが、知ることができたからです。また、様々な人たちの意見を聞くことができ、刺激を受けました。ありがとうございました。

○普通（まあまあ）

まだ、工夫の余地がある。

気軽に意見を出す雰囲気づくりは難しいですね。もっと気軽にと思います。子どもさんの発言はよかったですね。

○無回答

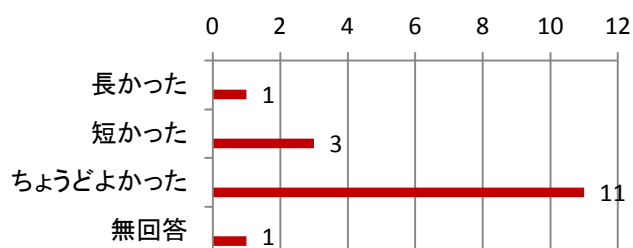
今回は大変よかった。

少人数グループで話し合える機会もあればと思った。

問5 議会報告会の時間はどうでしたか？

(件)

項目	回答数	割合
長かった	1	6.3
短かった	3	18.7
ちょうどよかった	11	68.7
無回答	1	6.3
計	16	100.0

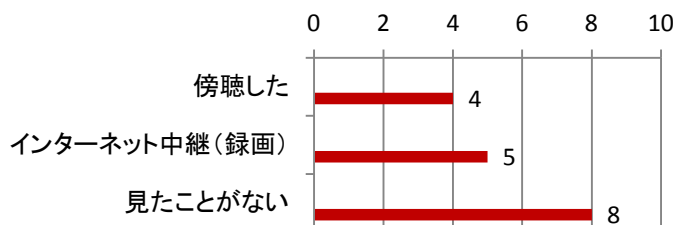


問6 町議会の本会議をご覧になったことはありますか？

※ 複数回答あり

(件、%)

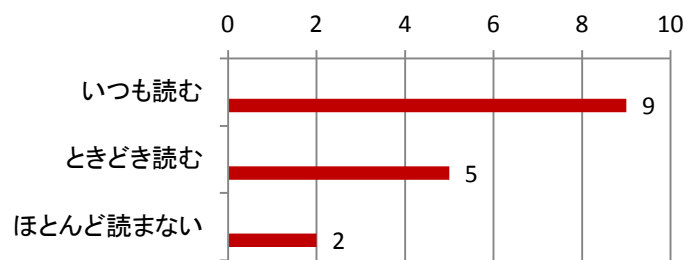
項目	回答数	割合
傍聴した	4	23.5
インターネット中継（録画）	5	29.4
見たことがない	8	47.1
計	17	100.0



問7 「まくべつ議会だより」を読んでいますか？

(件、%)

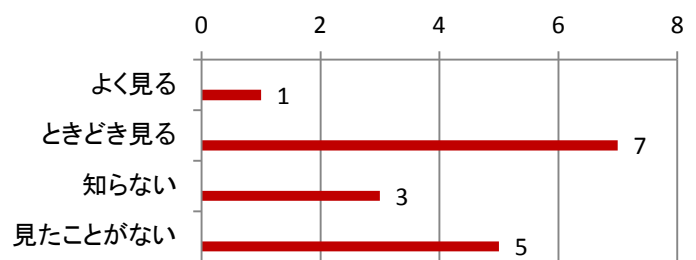
項目	回答数	割合
いつも読む	9	56.2
ときどき読む	5	31.3
ほとんど読まない	2	12.5
計	16	100.0



問8 町議会のホームページをご覧になったことはありますか？

(件、%)

項目	回答数	割合
よく見る	1	6.3
ときどき見る	7	43.7
知らない	3	18.8
見たことがない	5	31.2
計	16	100.0

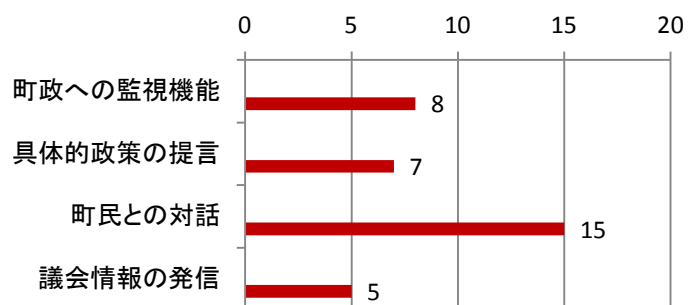


問9 町議会議員に期待することはなんですか？

※ 複数回答あり

(件、%)

項目	回答数	割合
町政への監視機能	8	22.9
具体的政策の提言	7	20.0
町民との対話	15	42.8
議会情報の発信	5	14.3
計	35	100.0



問10 その他、議会報告会に対するご意見など(自由記述)

※ 記載していただいた文面のとおり記載しています。

①	議会の前後に地域の人々（町内会）や団体に日程や議題の内容（出来る範囲で）の話題を投げかけてほしい。①止若橋昭和30年から70年を経過している。橋の上で上下振動が大きく安全なのか不安である。②インフラ（上下水道）、ガス、電気など、安全性などと全国にある事故を考えると町はどうなっているのか細かく知らせてほしい（広報に載せて下さい）③議員定数を下げないように基幹産業の農業議員増と一人ひとりの声を拾う議員さんに、また、金額は町民の平均年間収入を考えると給料アップは町民の収入とかけ離れたものにならないようにと思います。
②	子どもさんも参加されて嬉しいです！！
③	地域住民が発信しやすい工夫をお願いいたします。楽しかったです。
④	しっかりやっているようにかんじます。

⑤	地域で解決できそうな内容についても、議会にあがってきていることに驚きました。それだけ、地域のことに興味関心があり、どこに相談したらいいかわからないということなのかもしれません。より議員さんが身近に感じました。
⑥	子どもに意見を聞く場をもってほしいです。広報とても今回ののはいいです！
⑦	初めて参加しました。一方的な説明だけでなく、質疑の時間が充分確保されているのはよかったです。他の会合でもよく参加される方が今回も参加されていたようですが、新たな参加者がどんどん増えていくといいですね。あと、議会だよりのリニューアル、とてもいいですね。
⑧	常にかかれた議事を望む。
⑨	私は、今回参加して「広報まくべつ」だけでなく、「議会だより」もしっかり読みたいと思いました。そして、議員の数は減らさないで、今のままでいいのではないかな、と思いました。色々な分野に関わって下さっていたり、まくべつ学園のことも考えてくださっているのだと思ったからです。 また、一生徒の立場からは、給食の時間はもう少しゆっくり食べることができたらいいな、と思っています。校舎が完成して、全学年が揃ったときに、今でもにぎやかなので、どれくらいにぎやかになるのかな、とも思っています。 最後の意見交流のときに、「若い人たちに自分の経験を話したい」と話して下さった方がいて、今とは違う大変さを味わって来られた方が、どんな気持ちで過ごしていたか、私もですが今の若い人たちにも、ぜひ教えてもらいたいと思いました。昔を知って、今を大切に過ごせる選択ができるように、交流できたらいいのかなと考えました。 今日、参加していた方たちの中にも、お話をできなかった方も何人かいらっしゃったので、どんな思いを持っていたのかな？と思いました。また機会があったら、参加してみたいですし、実際の会議をしているところも見てみたいと思いました。今日の報告会の反省会なども、いつ・どのように行うのかな？と興味を持ちました。 私も、子どもの立場から取材させてもらったり、それを動画でまとめて発信するなど、何かやってみたいなと思ったのですが、難しいでしょうか。 温かく声をかけて下さって、ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いいたします。
⑩	親子で参加させていただき、ありがとうございました。資料も大変充実していて、イメージを深めることができました。全体を通しましても、町民の意見や質問にも丁寧に答えて下さって、感謝でした。 議員定数や報酬については、本日の内容を見聞きいたしまして、可能ならば地区ごとに(幕別本庁、札内、忠類、糠内、駒島など)まんべんなく議員がいる状態や各年代ごとに何人ずつ、と配置できるといいのではないかなと思いました。ただ、難しいのであれば、現状維持で、どこに住んでいても、分け隔てなく意見を発信できたり、吸い上げていただくためにも、報酬は今よりプラスになるように、現地訪問のための交通費など、別途で何か議員の方たちが活動しやすくなるような手当てをつけるといった方法はどうか。 また、ホームページやInstagram、YouTubeといった広く発信できるものは、議会側の告知や放映はもちろん、「幕別チャンネル」といった町民参加型のものを作り、希望する町民が(老若男女問わず)議員さんにインタビューをしたり、議会のしくみ等読み解いていくような番組を作れると面白いのかなと思いました。 記事や動画などで残しておけると、後の町民の方たちや教育機関などの教材の一助になる可能性はないでしょうか。他地域への発信にもつながりますので、興味関心をもっていたいただいた方たちにも、ヒットする可能性もゼロではありません。 地域活性化の意味合いも込めたいと思うのですが、そこから派生して、「教えて大先輩！」といったコーナーを作り、様々なご経験をされてきた町民の方にインタビューするですとか(意見交流の場で、若者に自分の経験を話したいといったご発言をして下さった方がいらっしゃいましたが、とても胸を打たれましたし、ぜひお話を聞かせていただきたいと思いました。)幕別町の文化・産業・食べ物なども取り上げることができるのではないのでしょうか。 それと同時に、子どもの権利条約や、発展させて憲法や選挙のしくみ、町政や国政との自身の生活への結びつきを学んでいけるような、長期的に幅広い生涯学習コンテンツを作っていけるようになれば、幕別町は「一人ひとりが輝ける、議員候補生もたくさんになる、魅力あふれる街」だと、誰もが気づくことができるのではないかなと考えました。 これからも、私自身幕別町のことを知り、学び続けたいと思います。 どうぞ議員の皆様も、お身体に留意され、幕別町のためによりしくお願いいたします。